

東シナ海ブロック水産業情報

No. 113(2021年4月~6月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>特になし。</p>	<p>○有明海 ・R2年生産、中間育成したタイラギ稚貝6,160個を沖合母貝場に移植。 ・R2年秋生まれのアサリ稚貝の発生を確認。密度調整、母貝場造成のため6月に高密度発生漁場から他漁場へ100トンに移植。 ・5月にガザミ種苗(C1)50万尾を放流(有明海漁業振興技術開発事業分)</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。 【栽培関連】 ・「かくや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの直放、ガザミの中間育成→放流を実施。</p>	<p>○有明 ・マガキ養殖 4月中旬以降、本養殖が開始されている。今年度、九州北部の梅雨期間は5月15日~7月13日と平年より長かったものの、豪雨による海域の低塩分化はみられなかった。そのため、本養殖中のカキは大量斃死を起こすことなく、順調に成長している。</p> <p>○玄海 ・カサゴ: 6月上旬に全長50~60mmを3千尾配布済。 6月中旬から下旬に全長60~70mmを9万尾配布済。 ・クロアワビ: 令和元年度産:4月下旬に放流用約3千個(30mmサイズ)を配布済。 ・ナマコ: アオナマコは約100万個体飼育中。7月下旬以降に70.6万個体配布予定。 アカナマコは約70万個体飼育中。8月中旬以降に38.2万個体配布予定。 ・マサバ: 4月下旬から6月下旬に70mmサイズ約7.4万尾を唐津市へ引渡済。</p>		<p>【4月】 プリでレンサ球菌症、マダイでベネデニア症、トラフグでスクーチカ症、ヘテロボツリウム症</p> <p>【5月】 カンパチでレンサ球菌症、マダイで滑走細菌症</p> <p>【6月】 プリでマダイリドウイルス症、シマアジでピブリオ病</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・3月中旬に八代海(浦底湾)で発生したHeterosigma akashiwoによる赤潮は4月中旬に終息、4月上旬~中旬には甞島浦内湾でCochlodinium polykrikoides による赤潮が発生した(ともに漁業被害なし)。</p>	<p>養殖カンパチで<i>V. anguillarum</i> J-O-1型を原因細菌とするピブリオ病が発生。今後、病原性等について検討を行う予定。</p>		